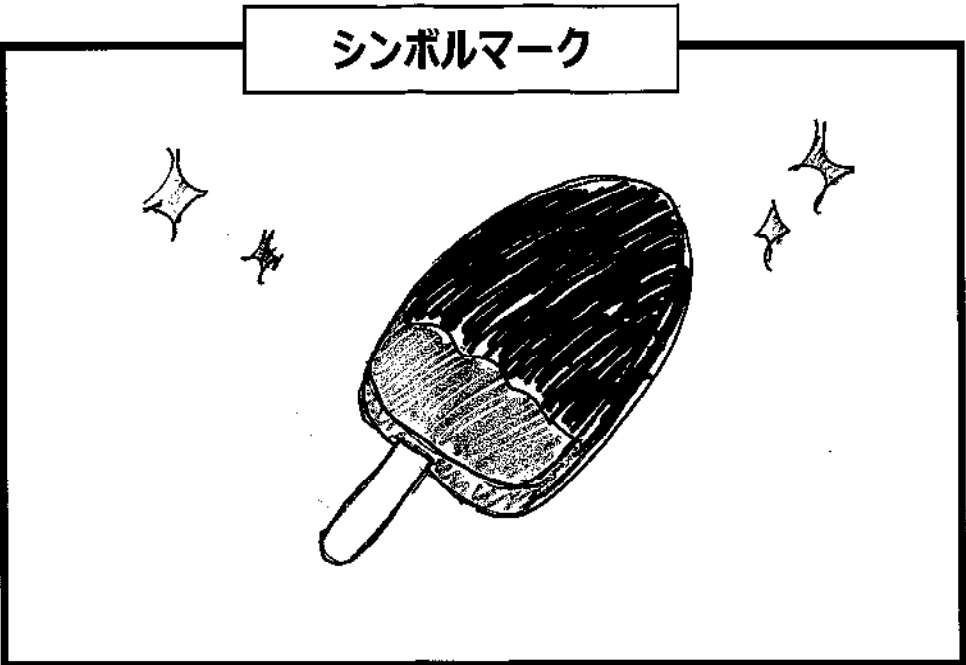


グループの旗

Cコース: グループ

グループのネーミング

パールムサクル



2024年 8月 26日

チーフアドバイザー

知念さん

アドバイザー

役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	星野 さん	TIMEカテクノ株式会社
2	サブリーダー		
3	発表者	河合 さん	アイシン高丘株式会社
4	質問者	北村 さん	伊藤精工株式会社
5	書記 1	時見 さん	フタバ産業株式会社
6	書記 2	菅原 さん	イゾミ工業株式会社
7	時間係・5 S	金田 さん	株式会社ジェイテクト
8			
9			

グループの決め事

No	内 容	評 価
1	みんなが積極的に発言する	○
2	みんなで時間を守る	○
3	否定しない	○
4	分からない事は聞く	○
5		

★活動終了時に全員で評価を実施します
★評価は、○、△、×等で記入
※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう！

2. 現状把握

《現状把握メモ》

気になる現象(コマが上手く抜けた時と、コマが上手く抜けなかった時の違いを見てください)		
	コマが上手く抜けた時	コマが上手く抜けなかった時
人	【人では?】	緊張していた
		やり方がわからない
道具	【ハンマー、机、シートでは?】	ハンマーが曲がっている
	/	
材料	【ダルマ、コマでは?】 ダルマが軽すぎる	
	ハンマーが軽すぎる	
方法	【積み方、たたき方では?】 ハンマーの先を持つ	弱くたたいた
	まっ直ぐ机と平行に打つ	
	机にあててスナップを利かせる	
測定	ハンマーを振り切っている	コマの並び順がバラバラ
	肘を締めて打つ	
	人差し指を立てる	
環境	【実施する場所では?】	床の紙に引っかかる

Cコース: グループ

リーダー研修会(初級)

計算表(改善前)

	回数	成功率
● 5段成功	2	11.1%
● 5段目失敗	0	
● 4段目失敗	2	
● 3段目失敗	5	
● 2段目失敗	5	
● 1段目失敗	4	
合計	18	

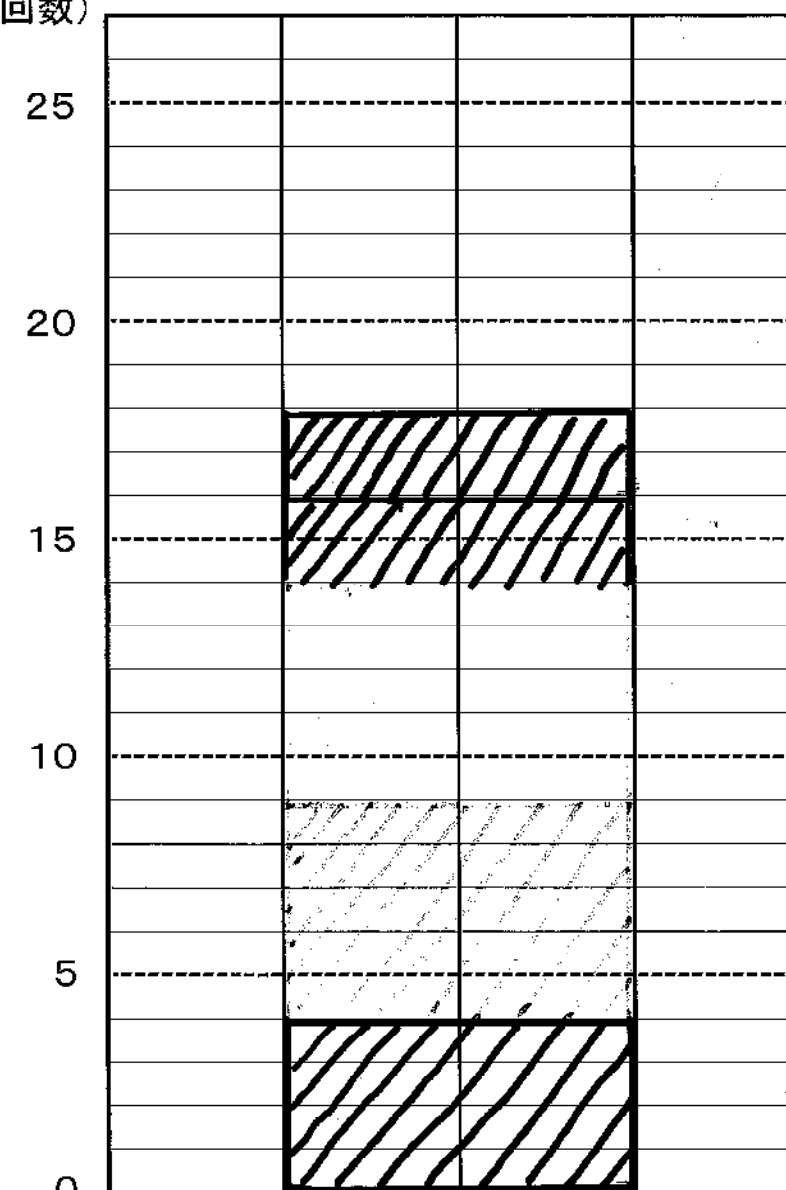
(改善前)

作成日: 年 3 月 26 日

作成者: 菅原

成功回数: 2

(回数)



改善前

3. 目標の設定・活動計画作成

Cコース: グループ

具体的目標：なにを、いつまでに、いくらをいくつに

(※ 目標の設定根拠も記入するとよい)

なにを：

11.1%の成功率を

いつまでに：

研修中に

いくらをいくつに：

50%にする!!

要因の絞り込みと検証

Cコース: グループ

- ① 観察で確かめる(現地・現物で確かめて要因を絞り込む)
- ② データや事実に基づいて確かめる(必要な要因に絞ったデータ・事実確認)
- ③ 実験・試行して、悪さ加減を確かめる(悪さの再現と要因探し)

	主要因	検証結果	採否
①	力加減がわからない。	強すぎず、弱すぎず。	○
②	初めてやるから。	関係なし	×
③	ルールが無いから。	ユマの並べる 順番を決めた。	○
④	倒れにくくする為に材質が 違う。	抵抗のある面を一番上にした。 (ダイルマの棒地面へした。)	○

6. 効果の確認

計算表(改善前)

	回数	成功率
● 5段成功	2	11.1%
● 5段目失敗	0	
● 4段目失敗	2	
● 3段目失敗	5	
● 2段目失敗	5	
● 1段目失敗	4	
合計	18	

計算表(改善後)

	回数	成功率
● 5段成功	6	33.3%
● 5段目失敗	0	
● 4段目失敗	1	
● 3段目失敗	5	
● 2段目失敗	2	
● 1段目失敗	4	
合計	18	

(改善前)

作成日: 年3月26日

作成者: 菅原

成功回数: 2

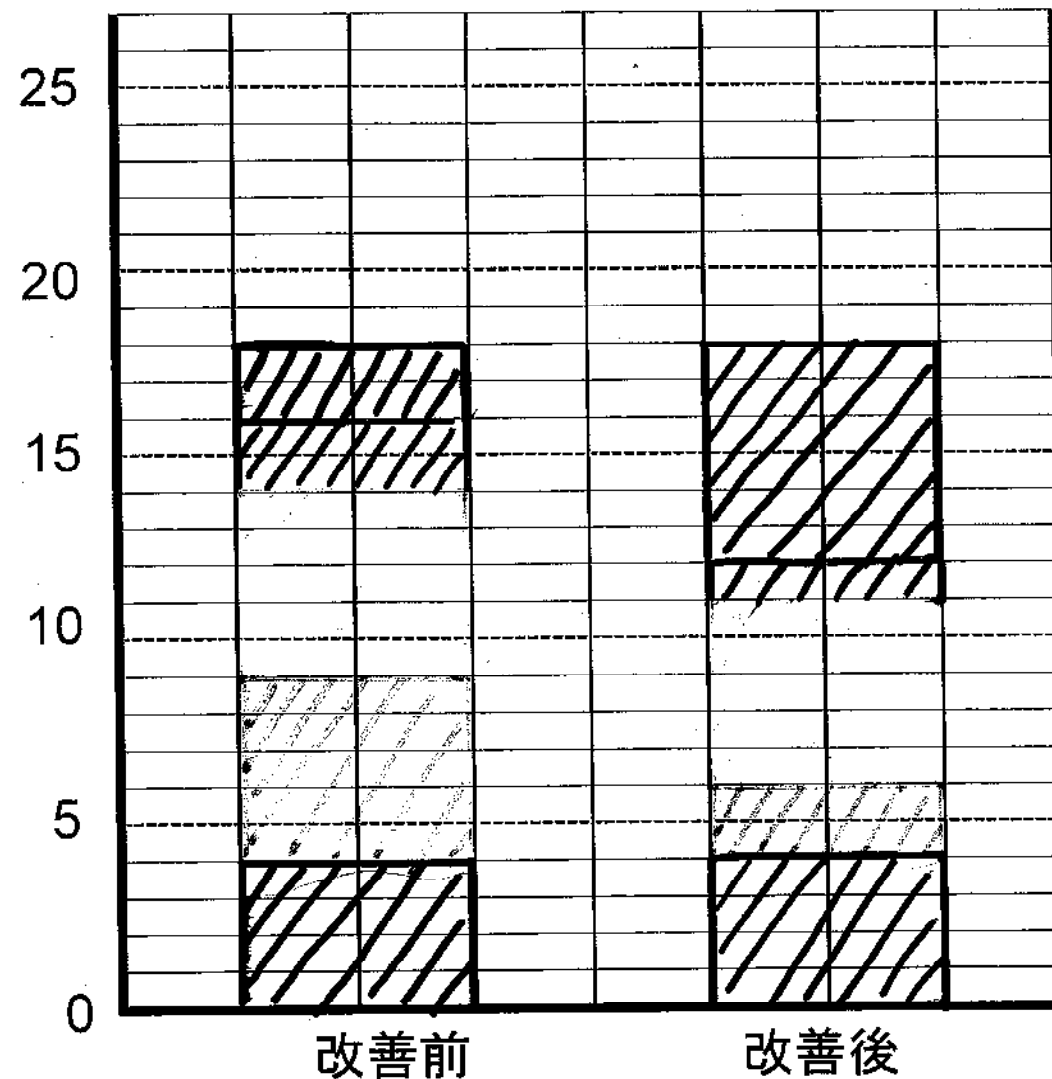
(改善後)

作成日: 年3月26日

作成者: 菅原

成功回数: 6

(回数)



(1) 結果

Cコース: グループ

目標	結果
成功率 50%	成功率 33.3%

(2) 目標との差分析

・ 振り幅のルール決めが出来てなかった

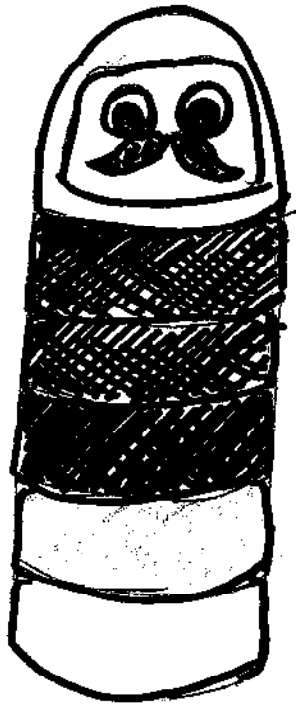
7. 標準化

Cコース: グループ

【標準化(ルール化)する】 ※実行していれば成功していた。

なぜ	なにを	いつ	どこで	誰が	どのように
ダルマをズレにくくする為	コマの順番を	今日	会場	メンバー	上から軽い川頁へ変更した。
ダルマもズレにくくする為	抵抗もあるコマを	今日	会場	メンバー	ダルマに接するようには。
※ダルマもズレにくくする為	メンバーとダルマの距離を	今日	会場	メンバー	一定にした。

図で説明する



45g
43g
47g
58g

8. 反省と今後の進め方(今後の活動の糧にする)

Cコース: 2グループ

※ダルマ落としの感想でなく、研修会に参加しての感想

☆ よかった点

- ・メンバー全員で意見を出し合い、研修を行う事ができました。
- ・これがリーダーとしてやっていくのって色んなひとりの経験ができてよかった。
- ・思った事は積極的に意見として出て事が出来た。
- ・改善前11%の成功率が改善後33%と目標には達しなかったが22%良くなった。
- ・対策をいくつかの方法で試す事が出来たし、結果を数値で見える事が出来た。
- ・活動のルールを決め全員が決め事を守れた

☆ 反省する点

- ・もっとさまざまな意見を自分自身で発言できればよかったと思います。
- ・自分の意見をもっと進んで発言できたらよかったと思う。
- ・現状把握がしっかり出来てないと要因解析がうまく進まない事を改めて感じた。
- ・目標の設定を高くしてしまっただけ逆にメンバーにプレッシャーを与えてしまった事。
- ・対策が先に見つかってしまい、要因解析の内容の深堀りがしにくい場面があった。
- ・要因の絞り込みと検証で思っている要因探しに不十分だった。